

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：村松英昭 副会長：小宮弘一郎
幹事：後藤 功 副幹事：青島 彰

第1711回

<ソング> われら日本のロータリアンの歌
<ソングリーダー> 望月 晃君



2006-2007年度
RIテーマ

率先しよう

ウィリアムB. ボイド



岩本山より富士山

写真提供：山田昭雄君

会長報告

村松 英昭君

先日の13日、14日に親睦旅行をかねて、白山ロータリークラブ創立40周年記念式典に行ってきました。会員10名、ご夫人6名の総勢16名で、13日朝8時に藤枝を出発しました。途中、武生の越前竹人形の里を見、午後3時過ぎに金沢に着きました。金沢では、今話題の21世紀美術館に行き、見学しました。建物自体が、美術建築物となっていました。広い四角い部屋があり、天井が真四角にあき、外界と通じ空がみえ、風を感じ、桜の花びらが舞い降り、周りの壁に連なったベンチに腰かけ空をながめていると我を忘れ心安らぎました。また、空に向かってメジャーを持って雲の大きさを測っている人物像とかがあり、今まで私が経験した事のない感性を感じました。

午後5時30分より金沢の高級居酒屋で夕食をとり、白山市にもどり、グランドホテル松任に宿泊いたしました。

翌14日、ご夫人方は朝8時30分にバスにて、金沢市内見物に出かけました。会員は、10時に40周年記念式典の受付をしました。11時より式典が開かれ、来賓に石川県知事、白山市長、白山市議会議長が参列し、参加者約240名の会でした。

記念事業として、「松任城の歴史略年表石碑」をおかりや公園に設置し白山市に寄贈。寄贈に対し白山市長より御礼の言葉があり、おかりや公園の名称を松任城址公園に変えるように条例を変えようと話されました。ロータリークラブと市行政と

のつながりの強さを垣間見た思いがしました。

式典の中で、壇上にて副知事に直接、能登半島地震への藤枝ロータリークラブ会員による義援金を手渡してきました。

12時すぎより祝宴に入り、篠笛の独奏により始まりました。この篠笛の音色がなんとも言えずすばらしく心に染み入る音色でした。また、奏者が美人で、思わず見とれ聞きほれてしまいました。

私の乾杯の挨拶で祝宴が始まり2時間程楽しいひと時を過ごしました。白山ロータリークラブの一人、一人がホスト役となり、私たちをもてなして下さいました。大変素晴らしい式典、祝宴でした。

午後2時過ぎに、ご夫人方と合流し会場を後にし、藤枝への帰路につきました。途中、名古屋の手前で事故渋滞に巻き込まれましたが、藤枝へ午後9時30分に全員無事到着いたしました。参加者全員、和気あいあいとした良い旅でした。

昨日は暗いニュースばかりでした。長崎市長が拳銃で撃たれ死亡する、アメリカでは大学構内における銃乱射事件等、背景にどのようなことがあるのかわかりませんが、人の命をどのように考えているのでしょうか。これ以上索漠とした世の中にしたくありません。私たちロータリアンは職業奉仕を通して倫理、規制意識を世の中へ伝えるべきではないでしょうか。

幹事報告

後藤 功君

・島田RCより45周年記念例会及び45周年記

念講演会開催のご案内が届いております。

45周年記念例会 5月19日(土)宮美殿

45周年記念講演会 5月24日(木)

島田市プラザおおるり

- F I F S NEWS No. 83が届いております。
- 「ロータリアン」英語版4月号が届いております。
- 富士山世界遺産にする国民会議より「Mission Mt, Fuji」が届いております。
- 麻薬・覚せい剤乱用防止センターより「KNOW」第74号が届いております。
- 国際奉仕委員長石垣君より、交換留学生「カウエ君」受け入れについての体験、報告書の作成をしたい旨お話がありました。

■ 出席報告

青島 彰君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
29 / 39 74.36%	25 / 39 64.10%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○石垣君 ○櫻井君 ○杉山君 ○水野君
浅川君 板倉君 鈴木舜君 仲田晃君 宮崎君
望月志君

(2)メイクアップ者

櫻井 龍太君(藤枝南) 杉山 静一君(藤枝南)

■ スマイルBOX

青島 彰君

- 夫人誕生祝有りがとう。妻も60才になりました。
松葉 隆夫君
- 結婚祝ばらの花ありがとうございました。
小宮 弘一郎君
- 結婚祝ありがとうございました。 飯塚 秀彦君

スマイル累計額 726,268円

■ 外部卓話

藤枝サッカー協会
少年委員長

河守 正記氏



『少年サッカーの健全育成について』

1. 少年団の歴史

藤枝の少年サッカーの歴史は古く、志太中初代校長錦織兵三郎氏の考えに同調した藤枝小学校長近藤英雄氏は、子供のたちに蹴球を奨励し、やがて蹴球は志太郡下に広まっていった。昭和9年から数回にわたり志太中主催の郡下小学校大会が開催されています。この地域では戦前からボールを蹴る子供たちがいたわけです。

昭和37年のオリンピックデーを記念して、全国にスポーツ少年団が組織されるようになりました。戦後は学校対抗の親善大会が学校行事の中にありましたが、少年団の普及に移行していきました。藤枝においては、志太中の伝統を受け継ぎその強さを誇る藤枝東高の近くに位置する藤枝、西益津地区に、この地域初めてのサッカースポーツ少年団が結成されました。少年団として正式に登録されたのは昭和40年1月であります。38年頃から、熱心な指導者のもと、希望者を募り保護者の承諾を得て活動を開始しました。39年藤枝、西益津の両少年団が結成されました。

その後、40年藤枝中央、葉梨、高洲、42年広幡、44年青島、瀬戸谷、葉梨西北、稲葉、46年青島東、47年大洲、50年藤岡、57年高洲南、59年青島北と市内全小学校にサッカースポーツ少年団が結成されました。

39年第1回藤枝小学校大会、40年新人戦(ライオンズクラブ杯)が始まり、41年藤枝市サッカースポーツ少年団リーグ戦(市長杯)が開始され、43年藤枝青年会議所(JC杯)志太地区少年サッカー大会が開始されています。

43年静岡県サッカー少年団育成協議会が結成され、44年第1回静岡県サッカー少年団大会が藤枝地区で開催され、藤枝、西益津、藤枝中央の3チームが出場し、藤枝が記念すべき最初の優勝を飾っています。その後も、2回大会、3回大会を藤枝中央が連覇、5大会は藤枝中央、6回大会は藤枝、7回大会は藤枝中央、9回大会は藤枝、稲葉が同時優勝、10回大会は藤枝中央と、藤枝

地区が全盛期の時代でした。

全国サッカースポーツ少年団大会は、４２年に開始され、４４年に初出場、４５年、４７年大会には優勝しています。

４８年１月には、サッカースポーツ少年団１期生が成人するにあたり、藤枝小学校正門前に記念像が建てられました。

４９年から全国規模の藤枝ＪＣ杯争奪全国少年サッカー大会が開始され、この大会に出場して、のちにＪリーガーに育った選手も多い。今年３４回大会が８月１１日（土）～１３日（月）で開催されます。

東京読売ランドで開催の全日本少年サッカー大会で、６２年藤枝ＦＣは惜しくも優勝を逃し、準優勝だったが、全国大会での藤枝の活躍がしばらくなかったため、この準優勝は大きな成果でありました。この時のメンバーの何人かは、その後藤枝中で、全日本ジュニアユース、藤枝東高で全日本ユース大会で優勝し、更なる飛躍を遂げています。

現在の少年団の大会は、３年生（Ｕ－８）から６年生（Ｕ－１２）までのカテゴリーに分かれて、それぞれの年代で市内リーグ戦が行なわれ、今年４２回リーグ戦が４月２９日（日）に開始され、５年生（Ｕ－１１）部で藤枝ロータリークラブ旗争奪戦になっています。５年生の部が開始されたのは、１２回（５２年）からです。

また、将来性ある選手の一貫した育成、強化のために、小学生年代の選手においてもジュニアトレセンが火曜日、金曜日の週２回藤枝中でナイターで行なわれており、選出された選手により藤枝ＦＣが組織され、藤枝代表のチームとして全日本少年サッカー大会静岡県大会や藤枝ＪＣ杯等に参加しています。

藤枝の少年団による他地域とのスポーツ交流も古くから盛んでありました。４３年からサッカー先進地である浦和市との交流が始まり、神戸や山梨、東京等で開催される大会や交流会にも積極的に参加して親善と交流を深めてきました。

藤枝市と親善友好都市となった石川県松任市（白山市）は、６０年の藤枝市制３０周年記念サッカー大会に招待する等スポーツ交流を深めています。また、藤枝ブルックスの福岡へのホームタウン移転にともない、都市間交流の福岡市とのサッカー交流も始まりました。オーストラリアのペンリス市とも、世界少年大会等を通じて交流活動が始まっています。また、２００２年ワールドカップで事前キャンプを張ったセネガル共和国との交流も世界少年大会で招待しました。セネガル共和国からセネガルカップが寄贈され、今年５回大会が５月１２日（土）藤枝総合運動公園で開催されます。

２．組織

平成１８年度

登録人数 ６９３名

チーム登録 １５団（葉梨西北は葉梨と合併）

藤枝５５名、藤枝中央５８名、西益津４６名、青島５９名、青島東３１名、葉梨６１名、高洲４０名、稲葉２３名、瀬戸谷３７名、広幡４２名、藤岡２３名、高洲南５９名、青島北５２名、大洲３５名、藤枝明誠７２名

３．指導方針

いつ、どこでも挨拶のできる選手になろう（家庭、学校、指導者）

良い事、悪い事の判断をしっかりとしなさい。

叱る勇気と褒める勇気をもちなさい（指導者）

話は、話す人の目を見て聞こう。（上達の第一歩）返事もしっかりと

自分でできることは自分でやる。すぐ人に頼らない。

サッカーを理由で学校生活に迷惑をかけない。

自分の体は自分で守る。ストレッチ等を必ずやろう。着替えは必ず持参、着替えて帰宅

フェアプレーの励行

常に感謝する（家庭、友達）努力する

（担当／成瀬）

■ 白山ロータリークラブ 創立40周年記念式典・祝賀会 ■

4/14 (土)

登録受付 10:00

記念式典 11:00

祝賀会 12:30～



■ 会員親睦旅行 ■

平成19年4月13日～14日 8時出発

越前竹人形の里→

21世紀美術館

